

野川沿い周辺（東名高速道路付近～国道20号付近）

地質の状況

野川沿いの低地部には、軟らかい沖積層(A層)の粘性土や腐植土が存在し、その下には立川礫層(Tg層)が分布しています。立川礫層(Tg層)は、直径0.5～3cmの礫を主体として中程度～粗い砂を含んだ締まった礫層で、透水性が良く水を通しやすい地層です。

立川礫層(Tg層)の下には、北多摩層の非常に硬い粘性土(Kic層)や、東久留米層の粘土分を多く含み非常に締まった砂層(His層)が分布しています。北多摩層(Kic層)は透水性が非常に低くほとんど水を通さない地層です。また、本地区の東久留米層(His層)は透水性が低く、水を通しにくい地層です。

地質縦断図



本図の地形は国土地理院発行の「数値地図5mメッシュ(標高)『東京都区部』」を使用しています。

記号凡例

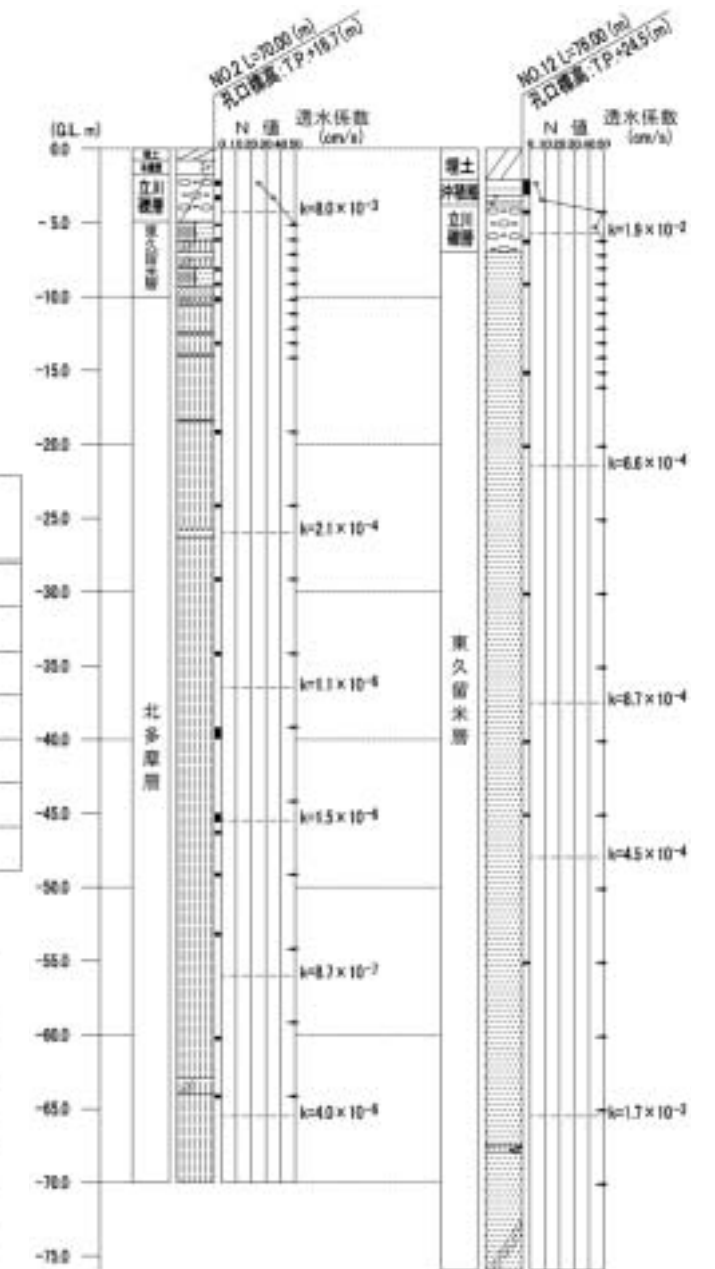
- 浅層用ボーリング地点
- 深層用ボーリング地点
- 市区境界

地質縦断図は、計画路線に沿った断面を示しています。地質縦断図は、縦：横 = 10 : 1の割合で表現しています。

代表的な柱状図

〔世田谷区〕
区立次大夫堀公園
(NO. 2)

〔狛江市〕
市立谷戸橋公園
(NO. 12)



地質縦断図凡例

地質時代	地層	記号	層相
完新世	礫土、埋土	B	礫混じり土主体
	沖積層	A	軟質な粘性土、腐植土
第四紀新世	関東ローム層	Lm	火山灰質粘性土
	立川礫層	Tg	砂礫
	武蔵野礫層	Mg	砂礫
	東久留米層	His	砂
北多摩層	Kic	粘性土	絞まった砂が主体の地層 硬い粘性土が主体の地層

柱状図凡例

図様	土質名	図様	土質名
[Symbol]	埋土	[Symbol]	シルト質細砂
[Symbol]	有機質	[Symbol]	シルト混り細砂
[Symbol]	シルト	[Symbol]	粘土混り細砂
[Symbol]	砂混りシルト	[Symbol]	火山灰質細砂
[Symbol]	礫混りシルト	[Symbol]	礫混り細砂
[Symbol]	固結シルト	[Symbol]	砂
[Symbol]	砂質固結シルト	[Symbol]	中砂
[Symbol]	砂混り固結シルト	[Symbol]	シルト質中砂
[Symbol]	火山灰質固結シルト	[Symbol]	シルト混り中砂
[Symbol]	固結シルトと細砂の互層	[Symbol]	中砂と粗砂の互層
[Symbol]	火山灰	[Symbol]	礫混り中砂
[Symbol]	ローム	[Symbol]	シルト質粗砂
[Symbol]	粘土	[Symbol]	火山灰混り粗砂
[Symbol]	有機質粘土	[Symbol]	粗砂
[Symbol]	シルト質粘土	[Symbol]	礫混り粗砂
[Symbol]	砂混り粘土	[Symbol]	砂礫
[Symbol]	砂混り凝灰質粘土	[Symbol]	シルト質砂礫
[Symbol]	火山灰質粘土	[Symbol]	粘土混り砂礫
[Symbol]	礫混り粘土	[Symbol]	粘土質砂礫
[Symbol]	細砂	[Symbol]	軽石

N値と地盤の状態について

N値							
0	2	4	8	10	15	30	50
砂質地盤の締まり具合	非常に緩い	緩い	中位の	非常に密な			
粘性土地盤の固さ	非常に軟	軟らかい	中位の	硬い	非常に硬い	固結した	

出典：「地盤調査法」平成7年 地盤工学会

透水係数と地盤の透水性について

透水係数 k (cm/s)											
10 ⁻⁹	10 ⁻⁸	10 ⁻⁷	10 ⁻⁶	10 ⁻⁵	10 ⁻⁴	10 ⁻³	10 ⁻²	10 ⁻¹	10 ⁰	10 ¹	10 ²
地盤の透水性	実質上不透水	非常に低い	低い	中位の	高い						

出典：「土質試験の方法と解説」平成12年 地盤工学会